

製品名: B-Myb ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab07612

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット、イネ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:10000-1:20000
分子量	80kDa

抗原情報

遺伝子名	MYBL2
別名	MYBL2; BMYB; Myb-related protein B; B-Myb; Myb-like protein 2
遺伝子 ID	4605.0
SwissProt ID	P10244
免疫原	抗血清はヒト B-Myb 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 551-600

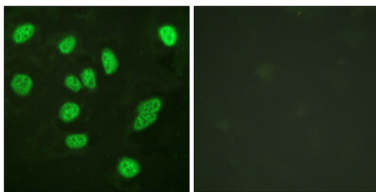
背景

転写因子遺伝子 MYB ファミリーに属するこの遺伝子によってコードされるタンパク質は、細胞周期の進行に関与する核タンパク質です。コードされるタンパク質は、細胞周期の S 期にサイクリン A/サイクリン依存性キナーゼ 2 によってリン酸化され、活性化因子活

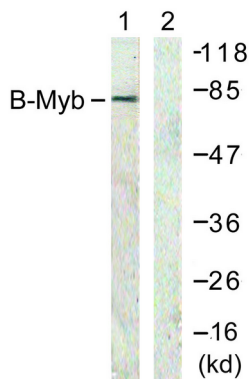
性と抑制因子活性の両方を持ちます。細胞分裂周期 2 遺伝子、サイクリン D1 遺伝子、インスリン様成長因子結合タンパク質 5 遺伝子を活性化することが示されています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 2 つの転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2013 年 7 月],機能: 細胞の生存、増殖、分化の制御に関する転写因子。CLU 遺伝子の発現を転写活性化します。PTM: S 期にサイクリン A/CDK2 によってリン酸化されます。Thr-520 のリン酸化は転写活性に関与していると考えられる。類似性: 3 つの HTH myb 型 DNA 結合ドメインを含む。サブユニット: DREAM 複合体 (LINC 複合体とも呼ばれる) の構成要素であり、少なくとも E2F4、E2F5、LIN9、LIN37、LIN52、LIN54、MYBL1、MYBL2、RBL1、RBL2、RBBP4、TFDP1、TFDP2 から構成される。この複合体は静止細胞に存在し、細胞周期依存性遺伝子の発現を抑制する。S 期には、LIN9、LIN37、LIN52、LIN54 が MYBL22 に結合するサブ複合体を形成すると解離する。

研究分野

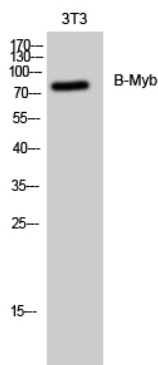
画像データ



B-Myb 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。



B-Myb 抗体を用いた A549 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロックされている。



1: 2000 に希釈した B-Myb ポリクローナル抗体を使用した 3T3 細胞のウェスタンブロット解析。